
東芝産業用太陽電池モジュール

仕様書

型名 : TA60M250WA/J, TA60M250WA/E

2013 年 2 月

株式会社 **東芝**

© TOSHIBA CORPORATION 2012
ALL RIGHTS RESERVED

仕様

■仕様

項目	仕様
公称最大出力: Pmp	250Wp*1
公称最大変換効率: η	15.2%*1
公称最大出力公差	公称値の $\pm 3\%$ *1
絶縁抵抗 (1000V) (JIS C 8918)	50 M Ω 以上
耐電圧 (2200V: /J モデル) (3000V: /E モデル)	絶縁破壊などの異常がないこと
外形寸法 (長さ×幅×高さ)	1650mm×991mm×40mm
出力ケーブル	ケーブル長: 各 1300mm ケーブル径: 4.0 mm ²
出力コネクタ	MC4 (Multi-Contact 社) 互換 互換コネクタ: PV-KST4/6I (オス), PV-KBT4/6I (メス) PV-KST4/6I-UR (オス), PV-KBT4/6I-UR (メス)
バイパスダイオード	有
公称質量	19.5kg

*1: この太陽電池モジュールの基準状態 (STC : Standard Test Condition モジュール温度 25°C、AM 1.5、全天日射基準太陽光放射照度 1000W/m²) における公称値です。

■準拠規格

規格	名称	第三者認証機関
IEC61215:2005 JIS C 8990:2009 と一致(IDT*2)	地上設置の結晶シリコン太陽電池(PV)モジュール-設計適格性確認及び形式認証のための要求事項	TUV-SUD
IEC61730-1:2004 JIS C 8992-1:2010 と一致(IDT*2)	太陽電池モジュールの安全適格性確認-第1部: 構造に関する要求事項	TUV-SUD
IEC61730-2:2004 JIS C 8992-2:2010 と一致(IDT*2)	太陽電池モジュールの安全適格性確認-第2部: 試験に関する要求事項	TUV-SUD
JIS Q 8901:2012	地上設置の太陽電池(PV)モジュール-信頼性保証体制 (設計、製造及び性能保証)の要求事項	TUV-Rheinland

*2: 対応の程度を示す記号 (IDT) は、ISO/IEC GUIDE 21-1 に基づき、一致していることを示します。

■参照規格

本モジュールは下記表に示す規格を必要に応じて適宜参照することとします。

規格	名称	第三者認証機関
JIS C 8918:1998	結晶系太陽電池モジュール	-
JIS C 8918:2005	結晶系太陽電池モジュール (追補 1)	-
JIS C 8955:2011	太陽電池アレイ用支持物設計標準	-

■使用条件

項目	使用条件
最大システム電圧	600V (Jモデル) 1000V (Eモデル)
モジュール動作温度	-40°C ~ +85°C
周囲温度	-20°C ~ +40°C
最大過電流保護定格	15 A
適用等級	Class A
防火等級	Class C
耐風圧等級 (JIS C 8918)	等級 217
最大耐荷重定格 (静圧)	正圧 : 5400Pa(前面クランプ止め、または 8カ所ネジ止め)、 2400Pa(4カ所ネジ止め) 負圧 : 2400Pa(前面クランプ止め、4カ所、または 8カ所ネジ止め)
設置形態	地上設置、陸屋根形、折半屋根
アレイの組立形態 (JIS C 8918)	記号 A (独立した架に組み込む場合)
設置可能傾斜角	0° ~ 45° *3
設置推奨傾斜角	10° ~ 35° *3
設置禁止環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽電池モジュールに長期間の日陰ができる場所 ・ 著しい大気汚染、油蒸気または腐食性ガスを著しく受ける場所 ・ 砂、じんあい、火山灰、すすなどが大量にかかる場所 ・ 標高が 1000m を超える場所 ・ JIS C 8955:2011 適用範囲外の場所及び条件 ・ 太陽電池モジュールの最大耐荷重定格を超える荷重(静圧換算)が発生する可能性がある場所 *4 ・ JIS C 8955:2011 に定義される想定荷重が、モジュールの最大耐荷重定格(静圧換算)を超えるような設計用基準風速および設計用積雪量が指定されている地域での設置 ・ 太陽電池モジュールに海水が直接かかる地域、および海岸線から水平距離で 300m 未満の地域 ・ 太陽電池モジュールが雪に埋まる可能性がある場所 ・ 水上、湿地帯、水はけが著しく悪く長期間雨水が滞留する場所

*3 : あくまでも参考値となります。荷重条件は設置場所、設置方法、周囲の環境、気象によって異なりますので、太陽電池モジュールの最大荷重定格値を超えないように設計してください。

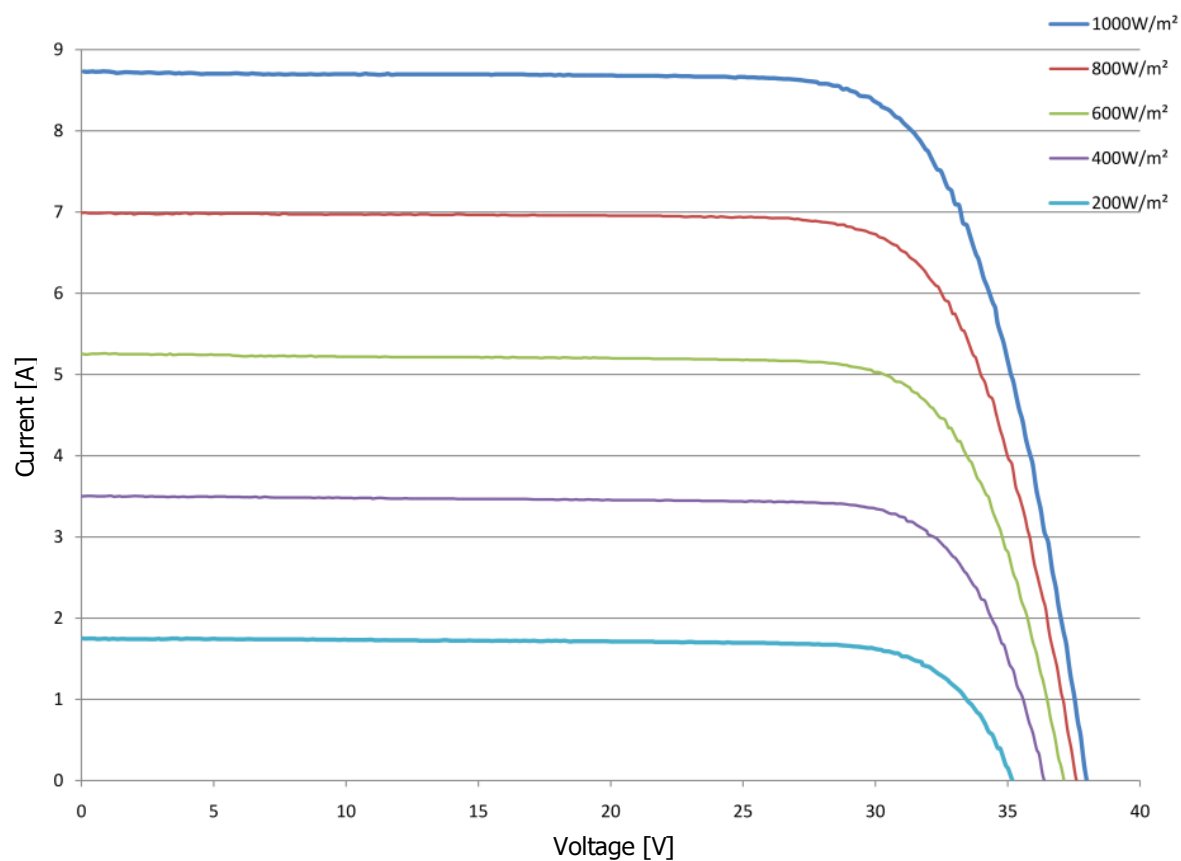
*4 : 荷重条件は設置場所、設置方法、周囲の環境、気象によって異なりますので太陽電池モジュールの最大荷重定格値を超えないように設計してください。

■参考仕様： データシート

本モジュールの標準試験条件（STC: Standard Test Condition モジュール温度 25°C、AM1.5、全天日射基準太陽光放射照度 1000W/m²）における、電気的特性を以下に示します。

項目	仕様
公称開放電圧: Voc	37.92V *5
公称最大出力電圧: Vmp	30.96V *5
公称短絡電流: Isc	8.62A *5
公称最大出力電流: Imp	8.07A *5
公称短絡電流温度係数: αIsc	+0.04%/°C *5
公称開放電圧温度係数: βVoc	-0.30%/°C *5
公称最大出力温度係数: γPmp	-0.44%/°C *5

*5: この太陽電池モジュールの基準状態（STC: Standard Test Condition モジュール温度 25°C、AM 1.5、全天日射基準太陽光放射照度 1000W/m²）における参考値です。

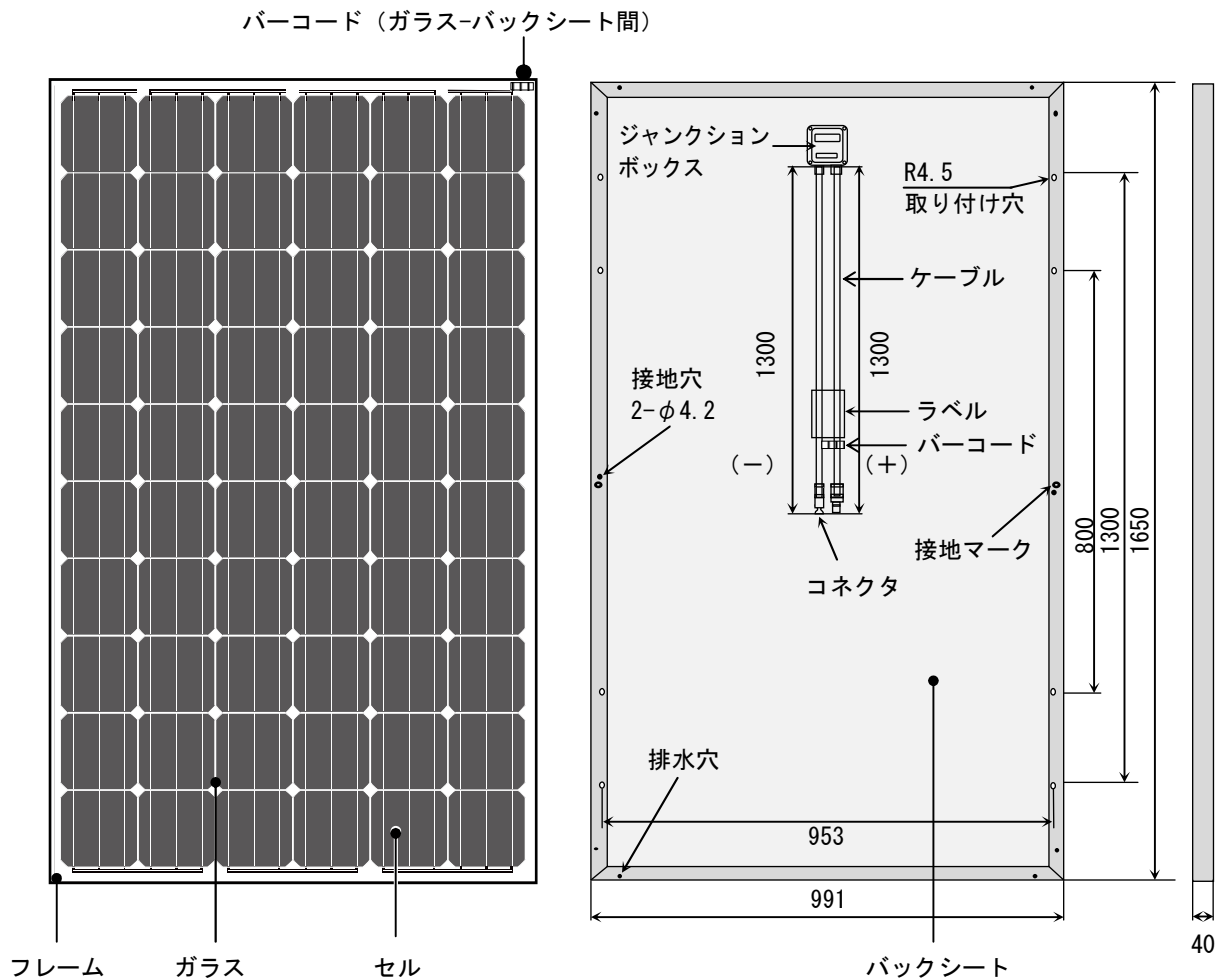


図面

< 前面 (太陽光面) >

< 背面 >

< 側面 >



(単位 : mm)

TOSHIBA

株式会社 **東芝**

社会インフラシステム社

電力流通システム事業部 太陽光発電システム推進部

〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

この製品は日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

DRW-PV0076-R3.11